

# 議会だより



# にき



## 第4回定例会

## 住宅補助で定住効果浸透

### CONTENTS

<b>第4回</b>	令和5年度決算 各会計の決算を認定	5
Town NTKI assembly		
<b>定例会</b>	町政のそこが聞きたい 一般質問 5人の議員が登壇	7
第1回臨時会	住民税非課税世帯に3万円	13
全員協議会	どう変わる 指定管理者	14

議会HPは  
コチラから  
Check!



令和6年

第4回定例会

12月19日

# 住みやすい住宅と 生活道路の整備

## 定例会のあらまし

第4回定例会は、12月19日に開会し、同日閉会しました。

町から、条例改正、補正予算、規約変更が上程され、全ての議案を可決しました。

また、第3回定例会で委員会付託した、令和5年度各会計決算認定は、委員会審査報告の後、採決した結果、すべての会計を認定しました。

議会からは、意見書2件を提出し、可決しました。一般質問では、5人の議員が登壇し、町長に考えを問いました。

# 住宅補助で定住効果浸透

## 補正予算

◇一般会計 専決第1号  
◇一般会計 (第4号)

専決第1号は、10月27日に執行された衆議院議員選挙に係る選挙経費に関する追加補正が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で承認**しました。

また、第4号については、企業版ふるさと納税の増や、仁木町定住促進住宅補助事業の対象件数増による追加補正や、町道仁小中線整備事業や、町営住宅コスモス30改善事業を含む各種事業の終了等による減額補正が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

◇国保特別会計 (第3号)  
**全員賛成で可決**

## 質疑あれこれ

定住促進住宅補助ということ

とで、200万円を補正しているが、今年度の実績は。

企画課長 当初は新築4件、改修4件を見込み1200万円の予算としていた。9月の段階で、新築が5件、改修が3件の実績であったため、100万円の追加補正を行った。

企画課長 新築の方、改修の方それぞれ、1件ずつが町外者であり、その他は全て町内の方である。

今回の補正は、新築がさらに1件増えたことから、新築が6件、改修が3件となったため、1500万円まで補正するものである。

新築された方は町内と町外のどちらの方が。

企画課長 新築の方、改修の方それぞれ、1件ずつが町外者であり、その他は全て町内の方である。

各1件の町外者は転居されてきたと考えるが、人数は把握しているか。

企画課長 新築は3名、改修は1名である。

コスモス30改善事業について、ドアの周りや郵便受けの錆もきれいにすることだったのだが、錆が残っている。工事の内訳に入っているのか。

建設課長 前回、説明した際には、物置のドアは錆周りも落として塗装し直すとの話だったが、玄関ドアは塗装ができないため、郵便ポストやその周りについては今の状態ということである。また、内訳には入っていない。

### 令和6年度各会計補正予算結果

#### 補正額

- 一般会計 (4回目の補正) 605万1000円増
- 一般会計 (5回目の補正) 640万9000円減
- 国民健康保険事業特別会計 (3回目の補正) 4000円増

#### 予算総額

- ※専決第1号 51億2185万2000円
- 51億1544万3000円
- 2億774万7000円

# 北後志し尿処理施設 解体費を負担

令和6年  
第4回定例会  
12月19日

## 規約変更

北後志衛生施設組合が運営・管理している、北後志5か町村のし尿処理を行っている施設は、老朽化により新たな施設を建設中です。

今後、既存施設の解体及び組合事務所を移転することが決まっています。が、現行の組合規約には解体費用の関係町村の負担割合の規定がないことから、規定の変更等を行うもので、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

負担割合の考え方としては、直近の国勢調査人口の割合と過去5年間のし尿収集量の平均割合を合算し、その2分の1を負担割合とするもので、本町の負担割合は解体に伴う経費に対し、20・2%と規定されます。

## 質疑あれこれ

**佐藤** 既存のし尿処理施設は、来年解体予定か。

**住民環境課長** 令和7年度は解体に向けた実施設計と、残っている汚泥等の処理をする予定である。

**佐藤** 最終的に解体工事が完了するのは何年なのか。

**住民環境課長** 令和8～9年度で解体工事を完了する。

予定であると伺っている。

**佐藤** 解体工事に係る本町の負担額は。

**住民環境課長** 概算で545万4千円という認識でいる。

## その他の議案

▼仁木町重度心身障がい者及びひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正

**全員賛成で可決**



北後志の5町村で解体費を負担します

## 佐藤町長の行政報告

### 敬老会を5年ぶりに開催

11月8日、仁木町民センターにおいて、令和6年度仁木町敬老会を5年ぶりに開催いたしました。

当日は、町内在住の80歳以上の対象者441名のうち、69名の出席があり、関係機関・団体から5名のご来賓をお迎えし、盛会のうちに終了することができました。

アトラクションでは、にき保育園の園児たちによる可愛らしいダンスや、国の重要無形民俗文化財である松前神楽を仁木神社の板谷宮司を始めとする皆さまに披露していただき、笑顔あふれる敬老会になりました。



## 岩井教育長の教育行政報告

### 银山義務教育学校の進捗状況

银山義務教育学校については、8月22日に開催いただいた全員協議会において、補助金の算定誤りにより一般財源の持ち出しが当初の予定額を大幅に上回ることが判明したことから、計画面積の圧縮や開校が2年遅れとなることを説明させていただきました。

その後、9月5日に银山中学校にて银山小中学校の教職員への説明、9月27日には银山生活改善センターにおいて地域説明会を開催し、10月2日に令和6年度银山義務教育学校基本設計（詳細分）委託業務として契約を締結し、現在仮図面の作成及び概算工事費の算出作業を行っています。

# 各会計の決算を認定

決算認定

令和6年第3回定例会で決算特別委員会（嶋田委員長・野崎副委員長）に付託した、令和5年度各会計決算認定に係る審査報告について、嶋田委員長より報告がありました。

委員長報告の後、全会計の質疑を一括して行い、採決の結果、一般会計は、**賛成4、反対3で認定**しました。

その他の3特別会計（国民健康保険事業特別会計、簡易水道事業特別会計、後期高齢者医療特別会計）は、**全員賛成**で認定しました。



## 決算特別委員会審査報告



一般会計の歳出では、地域おこし協力隊全国サミットの内容、放課後児童健全育成事業委託料の不用額、銀山地区義務教育学校基本設計策定委託業務の内容、スポーツ少年団育成補助金の内容などについての質疑（確認）があり、歳入では、個人町民税増額の要因などについての質疑があった。

討論では、仁木町エネルギー転換実証事業委託業務、バイオマス発電の実証事業及び、ワインツーリズム受入環境整備事業に関して、認定に反対する討論（詳細はページ下部に記載）があり、また、「総合計画に基づき実施した各種事業については、町民サービスの向上に努めたものと評価できる」と、認定に賛成する討論があった。採決の結果、賛成多数で「認定すべきもの」と決定した。

また、3特別会計では、簡水会計で、有機フッ素化合物の検査の実施状況などについての質疑（確認）があったが、国保会計及び後期高齢者医療会計では質疑はなかった。3特別会計ともに討論はなく、採決の結果、3特別会計を賛成多数で「認定すべきもの」と決定した。

## 討論



エネルギー転換実証事業委託業務について、国への申請をはじめ、予算見積り、発注から契約、実施に至るまでの過程において、事務処理上の疑問点も多く、到底納得できるものではないこと等から反対する。



ワイン産地持続化事業として、ワインツーリズム受入環境整備事業は、ワイナリーを巡る循環バスの運行のみであり、産地として持続発展を目的とした体制には至っていないため反対する。



本町の財政状況は、監査報告にもあったとおり、徐々に回復の兆しが見えている。加えて、総合計画に基づき、令和5年度に実施した各事業については、町民サービスの向上に努めたものと評価し、賛成する。

### 令和6年第4回定例会

### 賛否の分かれた議案の公表

議案名	前田香奈	山内隆生	木村章生	佐藤秀教	野崎明廣	宮本幹夫	上村智恵子	嶋田茂	横関一雄	議決結果
令和5年度余市郡仁木町一般会計 歳入歳出決算認定について（起立採決）	○	○	欠席	●	●	○	●	○	—	認定

○…賛成、●…反対 ※全員賛成の議案は、掲載していません。また、議長は採決には加わりません。

# 学費の無償化を！ 奨学金返済の 負担軽減を要望



学費無償化で幅広い進路選択を可能に

## 意見書

▼高等教育の学費軽減・奨学金返済の負担軽減を  
求める意見書

提出議員 上村智恵子  
賛成議員 前田 春奈

大学の初年度納入金は高額であり、学生生活は限界、保護者負担も重く、中には学業をあきらめざるを得ない人も生まれている。

学生の3人に1人が貸

与奨学金を借り、平均で300万円の「借金」を抱えて社会に出る状況で、若い世代の抱える奨学金返済額は10兆円にもものぼる。

学費無償化は国際的な流れであり、ヨーロッパでは、教育無償化にふみ出し、維持している国が少なくない。日本も批准している国際人権規約は、「高等教育は、すべての適当な方法により、特に、無償教育の漸進的な導入により、能力に応じ、す

べての者に対して均等に機会が与えられるものとする」としている。

先の総選挙では、高等教育の学費について、多くの党が「無償化」を訴えていることから、高等教育予算を抜本的に増額し、実際に入学しなくても返還されない入学金制度を廃止することや、給付中心の奨学金制度を創設することを要望するもので、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**し関係機関に提出しました。

## 核兵器禁止条約

### 締約国会議への参加を

▼「核兵器禁止条約締約国会議」へのオブザーバー参加を求める意見書

提出議員 上村智恵子  
賛成議員 野崎 明廣

令和3年に発効された核兵器禁止条約は、人類史上初めて核兵器を違法

と断じた。令和4年に開かれた第1回締約国会議、令和5年の第2回締約国会議は、核兵器の使用を許さないという強いメッセージを発し、核抑止論からの脱却を呼びかけている。

第2回締約国会議には、35か国がオブザーバー参加をした。一方で、唯一の戦争被爆国である日本政府は、2回連続で参加を見送った。

第3回締約国会議は令和7年3月に予定されているため、唯一の戦争被爆国として、「核兵器禁止条約締約国会議」にオブザーバーで参加することを要望するもので、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**し関係機関に提出しました。



提供：広島市

今年は原爆投下から80年となる年です

# 一般質問

第4回定例会の一般質問には、5人の議員が登場しました。  
紙面の都合により、内容を要約してお知らせします。

# 町政のそこが聞きたい



さとう ひでのり  
佐藤 秀教 議員

並行在来線のバス転換への今後の展望は

8



のざき あきひろ  
野崎 明廣 議員

高齢者へ思いやりのある対応を

9



まえだ はるな  
前田 春奈 議員

MaaSの取組の現状は

10



うえむら ちえこ  
上村智恵子 議員

国保税の子どもの均等割の見直しを

11



しまだ しげる  
嶋田 茂 議員

特定技能実習生の住宅整備に助成を

12

一般質問の詳しい  
内容はコチラから  
**Check!**

(第4回定例会)



こきポーのなにに？

一般質問とは



一般質問とは、議員が町政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について所信をただし、あるいは報告、説明を求め、又は疑問をただすことです。





さとう ひでのり  
佐藤 秀教 議員

# バス転換後の持続可能な交通体系の考えは

## 町長 引き続き運行計画の検討を重ねる

**問** バス運転手不足が深刻化する中、本町が求める「バス転換後の持続可能な交通体系」をどのように考えているのか。

**町長** 公共交通を持続的に維持し続けるためには、運行効率や利便性の向上が必要と位置付け、これまでバス転換後の運行ルートやダイヤを見据え、バスターミナルの設置や各地域との接続をどのように行うか検討してきたところであるが、北海道新幹線の札幌延伸が延期され、並行在来線のバス転換も延期される見込みとなることから、バス転換後の運行計画について、検討を重ねてまいりたい。

**問** バス事業者と協議の結果、本町が求める持続可能な交通体系が確保できない場合、どのような方法を考えているのか。

**町長** バス転換の時期を含めて、現状においてバス転換後の交通体系が見通せない状況であるが、各首長と良好な連携のもと協議を重ねながら、その中で本町が求める持続可能な交通体系が確保できるように引き続き努力してまいりたい。

**問** 今後、仮に余市・小樽間の鉄道の再検討を求める可能性が

あったとして、町長はどのような判断をされるのか。鉄路存続を支持するのか、仁木まで存続を訴えるのか。

**町長** 仮に、余市・小樽間が鉄路

存続することによって本町が負担を強いられる場合、残りの区間のバス転換の費用も負担することになることが想定されるので、その場合は二重の負担が発生する可能性がある



バス転換後の運行計画はどうなるのでしょうか

ある。様々な議論が行われることに対して否定はするものではないが、一番大事なものは、将来に対して大きな負担が残るような判断を下す考えはない。

**問** 社会資本整備総合交付金や貨物調整金などを活用して山線を存続させる可能性は。

**町長** 山線は、現在の機関車が運行できない区間が数か所あり、課題が多いと認識している。貨物調整金は新幹線の工事認可前にJR貨物から事業認可申請がされていなかったため、事業に該当しないと整理されていること、並びに、社会資本整備総合交付金については、運行経費には活用できないことから、山線を存続させることは難しいと考える。

# 思いやりの対応が必要では

## 町長 互いを配慮できるような地域に



あきひろ 明廣 議員  
のざき 野崎

**問** 軽度生活支援事業は、直近5年間に  
おいても希望される方が  
いない。また、生活管理  
指導事業も実績を見ると  
同じ状況である。条例の  
見直しについて考えてい  
るのか。

### 福祉課参事

今後の社会情勢等に合わ  
せながら、町独自のサー  
ビスが必要かどうかとい  
うことの在り方を検討し

て、今後条例の見直し等  
も含めて行っていただけら  
と担当課としては考えて  
いる。

**問** 今年度より包括支  
援センターが外部  
委託となったが、従来ど  
おり総合相談の窓口とし  
てすべて網羅されている  
のか。

### 福祉課参事

地域包括支援センターの  
機能をより充実させると  
いうことで、3職種配置  
していただいたことによ  
り多角的な判断、いろん  
な角度から高齢者の生活  
に関する困り事に対応し  
ていただいている状況で  
ある。

**問** 高齢者単身世帯の  
住宅に蜂の巣が起  
き、予期せぬことが起き  
てしまうことが想定され  
るが、対応として共助の  
体制と今一歩思いやりの  
対応が必要と感ずるが、  
町長の考えは。

### 町長

高齢者の方々  
が安心して地  
域で生活していくための  
対策等は、相談された  
方々の声を受け止めなが  
ら必要に応じ公的サービ  
スとして講じていく必要  
があるものというふうに  
考えている。併せて、共  
助の精神の根底にある  
「お互い様」という互い  
を思いやる、心の醸成に  
対する取組は地域の中  
でも積極的に意識してい

だくことが重要であると  
考えている。町としても  
今後も地域それぞれで互  
いを配慮できるように考  
えている。

**問** 町内のタクシー事  
業者が、作成して  
いるポイントカードで乗  
車料金割引券として使え  
るサービスを行っている。  
介護度がつかない自立  
している方で、町独自の  
事業である月に2回の送  
迎が該当にならない方が

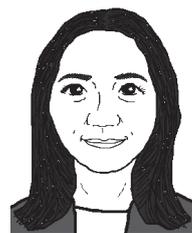
いる。この方に対する支  
援があっても良いのでは  
ないか。

### 福祉課参事

移動が大変だという方  
については、町で相談を受  
けて介護度がつかない方  
でも必要に応じて外出支  
援サービスの制度にのせ  
ることは引き続き行って  
いきたい。担当として  
まず、皆さんに自立して  
生活していただきたいと  
いうところである。



包括支援センターは1月から場所が変わりました



まえだ はるな  
前田 春奈 議員

# 町の課題の解決方法は

## 町長 ごみ収集システムの実験を検討

**問** 地域活性化起業者を受入れて約8か月が経過するが、**Maas**を実現する上で報告されている町の課題は。

**町長** 世代による情報格差と、Maasを実施する際の大きな課題と考えられている安定した利用者の確保や運行コストの削減、事業者間の調整や多様な収入源の確保などの持続可能性に懸念があると報告されている。

**問** 報告されている町の課題について、解決方法の提示はあるのか。

**町長** 町民がデジタルに触れる機会を創出することで、格差が解消できるのではないかと提案を受けており、町で開設しているコミュニケーションアプリのLINE（ライン）の積極的な活用や、簡易な申請

などをスマートフォンから申込みできないか等を検討している。持続可能性の確保については、次年度に向けては、ごみ収集システム「収集しマース」の実証実験を検討している。

**問** 令和6年度各会計予算特別委員会にて、本町を観光Maasのモデルにした事業を展開したいとの答弁があったが、その事業を通して本町が実現したいことは何か。

**町長** 他地域に訪れている外国人を含めた観光客に対して、本町へ訪問していただける仕組みがMaasによって構築できないかと考えており、地域活性化起業者を派遣いただいているパナソニックIT S社も同様に様々な交通機関を組み合わせて人の流れを構築していく構想を持っていると伺ってい

る。例えば、小樽市など観光地へ来た方に対して果物狩りやワインなど本町で提供できるコンテンツを提示して、選択された内容により交通手段から施設までを提案し、予約と費用決済を一括で行えるようなサービス提供が考えられる。道内の自治体とも連携したいと考えており、現在の地域活性化起業者が派遣されている期間内において構想を具現化したと考えている。



地域活性化起業者として派遣されている池野さん

ニキポーの旅には？



### Maas（マース）とは

地域住民や旅行者一人ひとりの移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて、検索・予約・決済等を一括で行うサービスです。

# 国保税の子どもの均等割の見直しを

## 町長 町村会を通じて国に要望したい

**問** 国民健康保険財政調整基金も医療費はどうなるかわからないと言いつながら、1億円の残高がある。それなのに安定的な財政運営を維持するために国保税率の見直しを検討しなければならぬ状況だということ、どんな状況なのか

は2000万円程度をほぼ下回るのではないかと考えている。

**問** 本町の医療費は増加しているのか。それとも減少しているのか。

除しており、北海道では旭川市などで取組が広がっている。子育て世帯応援金を創設し、取り組む必要があるのではないかと。

**問** 本町の医療費は増加しているのか。それとも減少しているのか。

まだ、ごく少数の自治体しかやっていないのも認識している。そういった推移を見極めながら、また町独自のいろいろな財政状況も踏まえながら、検討してまいりたい。

**福祉課長** 年度別の医療費ですが、近年は概ね約4億円前後の医療費として推移している状況である。

**町長** まだ、ごく少数の自治体しかやっていないのも認識している。そういった推移を見極めながら、また町独自のいろいろな財政状況も踏まえながら、検討してまいりたい。

**福祉課長** 今後の国民健康保険税等の見込みを調査したところ、数年後に

滋賀県の米原市では国民健康保険子育て世帯応援金を創設して、18歳以下の均等割実質ゼロとする支援金の支給など、高校生まで所得制限なしで第一子から免

育て世帯応援金を創設して、18歳以下の均等割実質ゼロとする支援金の支給など、高校生まで所得制限なしで第一子から免

育て世帯応援金を創設して、18歳以下の均等割実質ゼロとする支援金の支給など、高校生まで所得制限なしで第一子から免

**問** 本町は、本当に子育てにやさしいまちづくりを進めている。

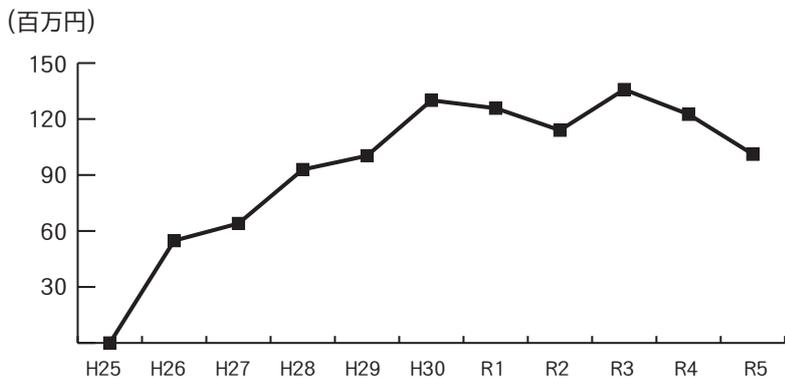
ただ、うちの町は、他の自治体にはない手厚い子育て支援策を講じている。

**問** 本町は、本当に子育てにやさしいまちづくりを進めている。

しかし、国保は生まれた途端、均等割がかかってくる。いくら医療費が無料になろうと、先払いで医療費を払っているようなものではないか。このことに矛盾は感じないのか。

**町長** 今後、そういったことも踏まえて引き続き子どもの均等割問題の根本的な解決に向けて、国に対して要望してまいりたい。

国民健康保険財政調整基金の推移



国民健康保険財政調整基金は減少する見込です





しまだ しげる  
嶋田 茂 議員

# 今の補助金と別枠での補助を

## 町長 早急に最善策を見出してまいりたい

### 問

本町には特定技能の外国人労働者が200人以上おり、今後増えることが予想される。しかし、住宅が無ければ受け入れることができず、農業所得も増えない。

町として、住宅の新築やリフォームの補助事業対象に、特定技能実習生向け住宅を加える考えはないのか。

### 町長

福祉や産業分野において人材の確保に伴う住居の不足については、喫緊の課題と認識している。空家を有効的に活用できる施策を検討するよう指示しているほか、特定技能実習生向け住宅に対する補助も住居不足解消の一策として検討している。

今後、様々な業種で就労される外国人材に選ばれる状況を構築しなければならぬと考えており、移動政調会において、外国人材を受け入れる側に

対する支援の創設を要望している。

また、町独自の支援についても調査・研究を行ってまいりたい。

### 問

受入農家は、実習生の住居の手配に大変苦労されていると伺っている。

町が管理している職員住宅や町営住宅に実習生を入居させることはできないのか。

### 総務課参事

職員住宅については、日の出の職員住宅4戸を4月から農業振興の一環として農協に貸し出している。

### 建設課長

町営住宅については、特定技能外国人は複数名入居されている。また、最近では町内の各事業者からも問い合わせを受けており、引き続き入居していただくと想定している。

### 問

農家の所得を増加させるためには、農業技術の発展のほか、労働力の確保も重要である。町として、特定技能を含めた実習生の重要性についてどう考えているのか。

### 企画課長

農業分野に限らず、今は介護分野においても実習生が多く入ってきていると承知している。

今後、外国人材の方が重要になってくるという



実習生のための住宅を建てた方もいらっしゃいます

のは非常に大きなポイントになると認識している。

### 問

農家がグループを組んで住宅を建てることやリフォームの部分の補助を、今の補助金と別枠で考えていただきたいが、いかがか。

### 町長

早急に最善策を見出してまいりたいと考えている。

特定技能実習生を入れるための住宅の要綱を整理して検討してまいりたい。

# 住民税非課税世帯に3万円

## 18歳以下の児童には加算も

臨時会のあらまし

第1回臨時会は、1月22日に開会し、同日閉会しました。

町から、補正予算4件、条例改正5件、指定管理者の指定1件の、計10件が上程され、全員賛成で可決しました。

### 補正予算

#### ◇一般会計(第5号)

一般会計補正予算は、物価高騰重点支援給付金や人事院勧告に伴う人件費の追加等による補正が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

#### ◇後期医療特別会計(第3号)

**全員賛成で可決**

#### ◇簡水会計(第1号)

**全員賛成で可決**

#### ◇国保特別会計(第4号)

**全員賛成で可決**

### 令和6年度各会計補正予算結果

#### 補正額

#### 予算総額

- ・一般会計(6回目の補正)  
5143万4000円増 51億6687万7000円
- ・国民健康保険事業特別会計(4回目の補正)  
43万3000円増 2億818万円
- ・後期高齢者医療特別会計(3回目の補正)  
79万6000円増 8132万2000円
- ・簡易水道事業会計(収益的支出)(1回目の補正)  
97万8000円増 2億6994万3000円

### 質疑あれこれ



佐藤 昌博

給付金の支給について、町民への周知については、どのように考えているのか。

福祉課長 プッシュ型の対象者については、2月下旬にお知らせや確認書を送付する。また、3月上旬の広報配布に合わせ、給付金のお知らせを全世帯を対象に配布する。プッシュ型の対象者には、文書を送付したことやその内容について、また、申請が必要な方に対する給付金の内容をお知らせする予定である。

### 指定管理者

ふれあい遊トピア公園及び仁木町民スキー場の指定管理者の指定についてが提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

◆特別職の職員で常勤のもの給与等に関する条例の一部改正  
**全員賛成で可決**

◆仁木町職員の給与に関する条例及び地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部改正  
**全員賛成で可決**

◆仁木町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正  
**全員賛成で可決**

◆職員に対する寒冷地手当支給に関する条例及び地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部改正  
**全員賛成で可決**

### その他の議案

◆仁木町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正  
**全員賛成で可決**

**全員賛成で可決**

# 指定管理者

令和6年12月5日及び20日の  
全員協議会では、ふれあい遊トピ  
ア公園及び仁木町民スキー場に関  
する件について協議しました。

12月5日の全員協議会  
では、町側から、現在  
(株)コンサドールが指  
定管理者として運営して  
いるコンサドール仁木  
パーク(ふれあい遊トピ  
ア公園)及び仁木町民ス  
キー場の指定管理業務に  
ついて、(株)コンサ  
ドールと(株)まちのミ  
ライで設置するコンソー  
シアムによる指定管理に  
移行したい旨の説明を受  
けました。

令和7年春に後志自動  
車道(仮)仁木インター  
チェンジの開通が予定さ  
れ、同年末には仁木町民  
スキー場のリニューアル  
オープンといった当該施  
設を取り巻く状況が大き  
く変化する中、プロモー  
ションやマーケティング  
力の一層の向上が必要と  
されることから、今回の  
提案となりました。

町では、今後、コン  
ソーシアムに指定管理者  
を担わせるために、一度  
現在の(株)コンサドール  
の指定管理者の指定を  
取り消し、新たにコン  
ソーシアムを指定管理者  
とするよう手続を進める  
予定です。

A より良い形で進むと  
いう観点から、今回の提  
案に結びついたと考えて  
いるため、議会での審議  
を反故にするとかそう  
いったものではなく、よ  
り発展して、深掘りして  
肉付けした形で今回に  
至っているものだとして  
理解していただきたい。

Q 指定管理者が(株)  
コンサドールに決まっ  
てから、パークゴルフ場  
に関しても利用者や各団  
体からうまくいっていない  
ところがたくさん出てき  
ていたが、(株)コンサ  
ドールはどのように運営  
していたのか。

Q 我々は、「(株)コン  
サドールはやるね」と  
判断して、議会で承認  
したが、その経緯はどう  
なるのか。



質疑あれこれ

A いろいろなご指摘を  
受けているのは事実であ  
る。前の業者も最初の頃  
は利用者とうまく関係が  
築けなかったが、年々  
徐々に改善された。

時間はかかるかも知れ  
ないが、お互いに歩み合  
いながら一つの目的に向  
かって進めていきたい。

## 資料の提出を含め

# 議会側から開催を申し入れ

12月20日の全員協議会は、12月5日の全員協議会での協議を受け、議会側から再度開催を申し入れ、開催しました。

議会側からは、町と(株)コンサドールとのコミュニケーションの状況や、基本協定書の写し等の資料提出及び説明を受けた後、質疑を行いました。



パークゴルフ場は芝生の管理が重要です

協議には、(株)コン

サドールの菅井インキューベーションディレクターに出席いただき、今回の提案の内容や、コンソーシアムを組成する予定である(株)まちのミライの事業内容、コンソーシアム組成のメリット等について説明を受けました。

## 質疑あれこれ

**Q** (株)コンサドール

として、市町村との業務契約などのお仕事をされた経緯は本町が初めてか

**A** 自治体との取組は

様々あり、例えば紋別市に対し指導者の派遣をしていたり、官民連携で言うと、札幌ドームの運営は第三セクターと一緒に رفتりしている。

大がかりに(株)コンサドール単独で公園並びにスキー場をやったというのは初めてで、こういった機会をいただいたことは嬉しく感じている。

**Q** 我々、町の方も、

(株)コンサドールだったら何とかしていただくと期待していた。

ところが、スキー場はまだオープンしていないが、野球場やパークゴルフ場は苦情が出ており、説得力がない。

(株)コンサドールでは、この2年間やった経過について1年ごとにも検証しているのか。

**A** この2年間で、こういった意見をいただく中で、様々な苦情が出てしまっていることは、大変反省しつつ、しっかりと検証チームを作って、より良い運営にあたるよう動いている。

一方で、こういった新しい会社を作ることによって様々な人材が入ってくることで、より密なコミュニケーションを繰り返しながら、さらに良い指定管理業務を賄えるよう考えている。

**Q** これは昨年の話だが、なぜ今まで議会に話なかったのか。

**A** 索道免許取得の関係上、スキー場オープンに影響が出るという話で、ギリギリになって協議の

場を設けさせていただいた。

コンソーシアムの話があった時点で、協議をする場を設けるべきだった。

指摘を受けたとおり、結果として、議会を軽視していたことになるのではないかと考える。

早い段階で説明する機会をもたなかった私の責任であり、謝罪を申し上げます。

(株)まちのミライの事業内容を見たが、どこに照準を合わせてやっていくのか。

**A** 最大の目標は、地域住民の方に喜んでいただける公園を作ること。ここに照準を置いている。

抽象的ではあるが、自己肯定感を上げられるような事業をしなければいけないと考えている。



野球場では、昨年、全道大会も開催されました

# 売地情報の集約と見える化を

黒田 大稀さん（西町）



連載37回目は、西町在住の黒田さんファミリーを紹介いたします。奥様とお子さん2人の4人家族です。  
お仕事は農業で、町内の奥様の実家で勉強中というっしやいます。

◎ 仁木の子育て環境はどつですか。

昨年5月に余市町から引っ越してきましたが、地元ということもあり、住みやすいと思います。  
保育園も新しくなり嬉しいですね。

◎ 子育てに関するところで、町に対して望むことはありますか。

スポーツやピアノなどの習い事が町に無いと聞きます。子どもの幅を広げるためにも、町内でできることがあればいいなと思います。

◎ 子育てに関するところで、町に対して望むことはありますか。

若い世代が増えてくれればいいと思いますし、だんだん増えてきていると聞いています。住宅建設の補助があるのは魅力的で、周りにも仁木町で家を建てたいと言っている人がいますが、

土地が無いと聞きます。売地などが一括でわかる仕組みがあれば、引っ越してくる人が増え、町の活性化につながるのではないのでしょうか。

◎ 仁木町の将来について、どのように感じていますか。

外で遊んでいる近所の子どもたちを見ると、いい文化が残っているなと感じます。安心して親が外に子どもを送り出せる環境を維持してほしいです。

◎ お子さんに対してメッセージを！

自然の中で、いろいろな動物や植物に触れ、自由にのびのびと育ててね。

2歳のお兄ちゃんと、もうすぐ1歳になる弟さんは元気いっぱい。

おおきな木もよく利用しているそうなので、新しく保育園と同じ建物になったことで、利用しやすいとのこと。

住宅建設用の土地の話も聞き、建設補助だけではなく、空き地の把握などのサービスの必要性を感じました。

（取材・インタビュー 上村智恵子）



（取材・インタビュー 上村智恵子）

# まちの人

## 蕎麦と日本ワインの店

naritaya (ナリタヤ) さん

# カジュアルに楽しめます



「この景色が日常になりつつありますが、素晴らしいことであるのを忘れないようにしたいです」と、見晴らしのいいお店で語る成田さん夫妻（真奈美さん、和仁さん）は、4年前に旭台地区に蕎麦と日本ワインの店をオープンしました。  
東京で暮らしていた時に、蕎麦打ちに興味があった和仁さんは会社員をしながら蕎麦打ち教室に通っていたそう。一方で、真奈美さんはワインに興味があり、ワインの資格を複数取得していたそう。お二人で何か新しいことを始めたいと考え、北海道出身で後志地区に馴染みのある真奈美さんの希望もあり、ワイン産地である本町での店のオープンに至ったそう。

「自家製粉の北海道産蕎麦粉にこだわった手打ち蕎麦と窓から見える頂白山の景色が自慢です。地元のワインもカジュアルに楽しめるお店です」と、お店の魅力を語る成田さん。

成田さんは、本町にもワインと食事を楽しめるお店が増えて、今以上に町が盛り上がりつつあることを望みつつも、交通面での課題も感じており、「仁木町版ライドシェアの導入はいかがでしょうか」との提案もいただきました。  
最後に、町民の皆さまへは、「ランチのほか、夜のコースも4名以上で予約が可能です。特に冬は予約が取りやすいので、ワインと料理を楽しみにいらしてください」とのメッセージをいただきました。

（取材・記事 宮本幹夫）



次の議会は  
**3月**  
**定例会**  
(3月上旬開催予定)

- ◆ 編集・発行責任者  
議長 横関 一雄
- ◆ 議会広報編集特別委員会  
委員長 嶋田 茂  
副委員長 佐藤 秀教  
委員 前田 春奈  
山内 健生  
木村 章生  
野崎 明廣  
宮本 幹夫  
上村 智恵子

## 寄付行為の禁止

議員は、選挙区内の方にお金や物を贈ることは、法律で禁止されています。  
また、有権者が求めてもいません。  
ご理解をお願いします。